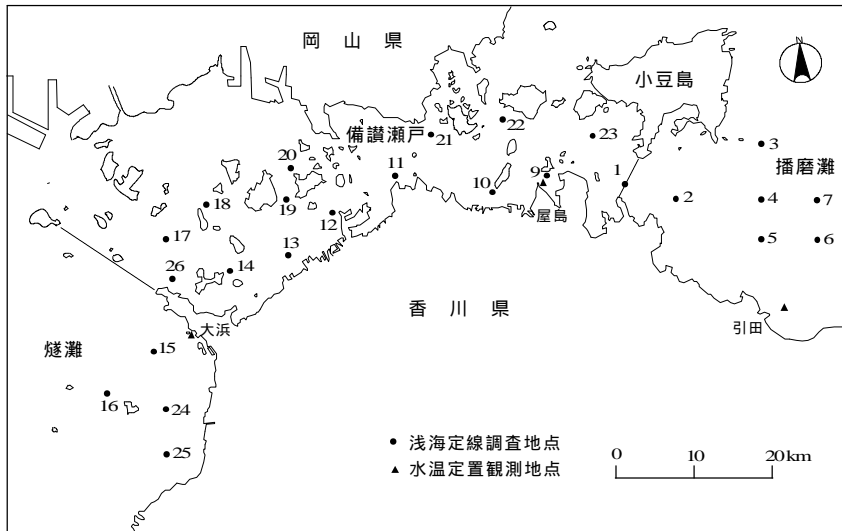


香川県漁海況速報 平成20年7月(H20-4号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成20年7月2日(播磨灘)、1日(備讃瀬戸、燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並みからやや高め」、塩分は「平年並みからやや高め」、透明度は「平年並みからやや高め」、溶存酸素は「やや低めからやや高め」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/L)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播磨灘	7地点平均値	21.5	20.6	18.7	31.9	32.0	32.1	9.6	4.92	3.99
	平年値	22.1	20.6	18.8	31.6	31.8	32.1	7.7	5.26	3.73
	平年偏差	-0.6	0.0	-0.1	0.3	0.1	0.0	1.9	-0.34	0.26
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	やや低め	やや高め
備讃瀬戸	14地点平均値	21.6	21.1	20.9	32.3	32.3	32.4	4.1	4.45	4.19
	平年値	21.3	20.8	20.6	31.5	31.8	31.9	4.2	4.71	4.46
	平年偏差	0.3	0.3	0.3	0.7	0.5	0.5	-0.1	-0.26	-0.27
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	やや低め	やや低め
燧灘	4地点平均値	23.3	20.7	18.3	32.2	32.9	33.2	8.6	4.99	3.87
	平年値	23.9	20.2	18.2	31.4	32.4	32.7	9.1	5.28	3.73
	平年偏差	-0.5	0.6	0.1	0.8	0.5	0.6	-0.5	-0.29	0.14
	状況	平年並み	やや高め	平年並み	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	やや低め	平年並み

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和48年(1973)1月～平成13年(2002)12月

溶存酸素：昭和48年(1973)2月～平成13年(2002)12月

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み	0	平年偏差 < 0.6	(: 標準偏差)
やや高め(やや低め)	0.6	平年偏差 < 1.3	
かなり高め(かなり低め)	1.3	平年偏差 < 2.0	
著しく高め(著しく低め)	2.0	平年偏差	

3) 定量観測(水温)

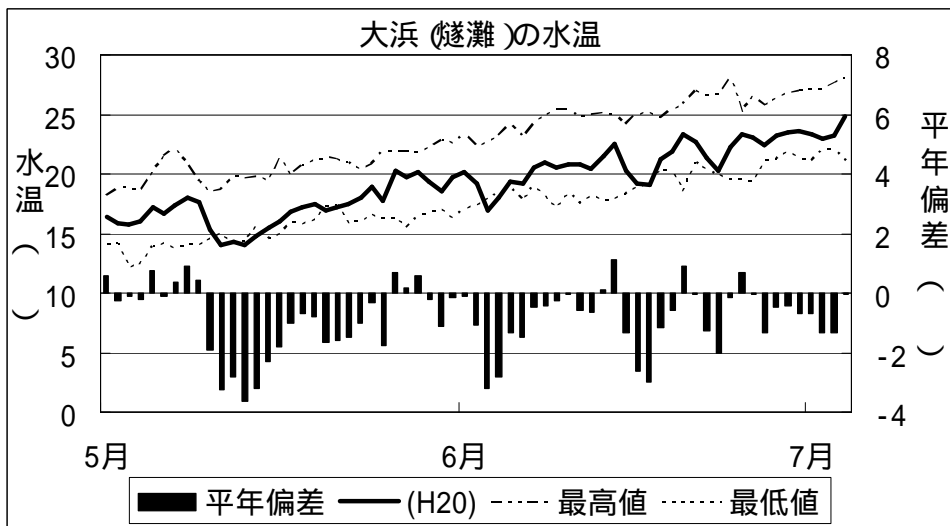
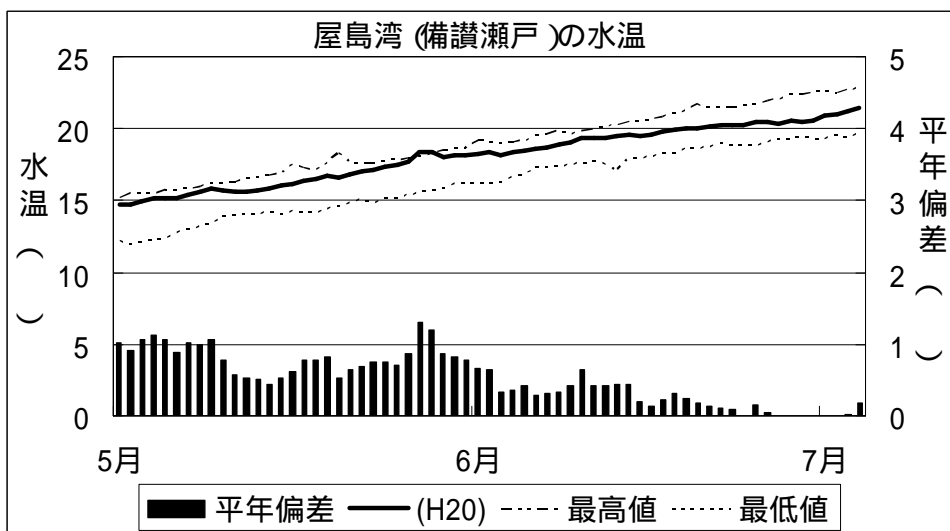
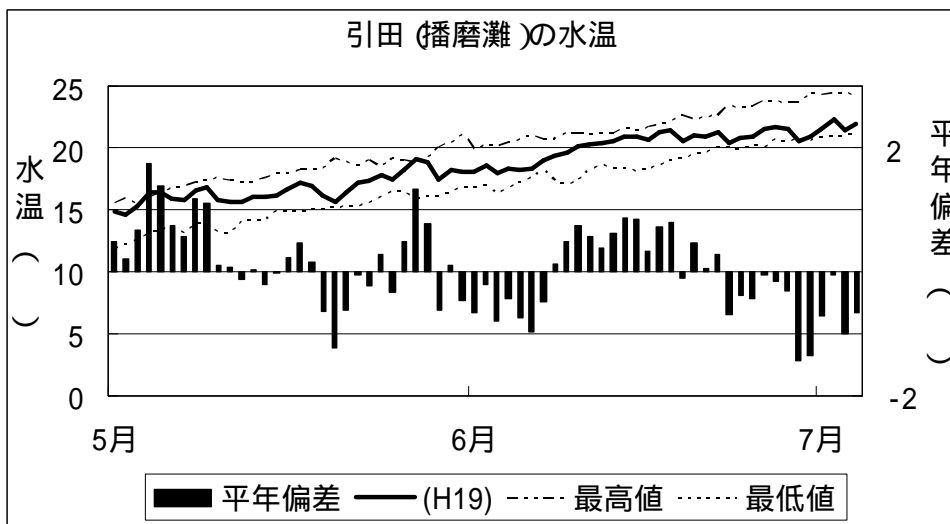
播磨灘(引田): 6月上旬はやや低めから平年並み、中旬は平年並みからやや高め、下旬以降はやや低めから平年並みで推移している。

備讃瀬戸(屋島): 6月前半は平年並みからやや高め、後半以降は平年並みで推移している。

燧灘(大浜): 6月以降著しく低めから平年並みで推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)~平成19(2007)年

屋島: 昭和50(1975)~平成19(2007)年



4) 赤潮(6月10日~7月8日)

播磨灘：4月9日から6月16日まで南西部でノクチルカ赤潮が継続して発生した。

備讃瀬戸：6月16日から20日まで、また7月6日から屋島湾においてヘテロシグマ赤潮が発生している。

燧灘：発生なし。

5) 卵稚仔

調査日：平成20年7月2日(播磨灘) 1日(備讃瀬戸、燧灘)

出現量

カタクチイワシ卵の出現量は平均14.93個/曳網(対平年値63.5%)であった。

2. 漁況

6月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網では、マルアジ、小エビ類、ハモ、手長ダコが漁獲されている。 建網ではヒラメ、オニオコゼ、ガザミ、スズキ、キュウセン、メバルが漁獲されている。</p> <p>大型定置網では主にマルアジ、スルメイカ、タチウオ、マサバ、カタクチイワシが漁獲されている。</p> <p>東讃のシラス船曳網の6月の漁獲量は約140トンで前年の40%と不漁であった。 サワラ流し刺網の6月までの漁獲量は約38トンで、前年の約70%であった。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では主にウシノシタ類、マダイ、メイタガレイ、マアナゴ、小エビ類、コウイカ類、マダコが漁獲されているが、特に、100~150gの小ダコが多い。</p> <p>高松・庵治沖のイカナゴ込網の6月までの漁獲量は、約1,340トンで前年の約110%であった。 サワラ流し刺網の6月までの漁獲量は約35トンで、前年の約150%であった。 マナガツオ流し刺網は、不漁で出漁を控えている人が多い。</p>
燧 灘	<p>底びき網では主に小エビ類、アカカマス、シロギス、タチウオ、シャコ、ベイカが漁獲されている。</p> <p>イワシ機船船びき網は、6月23日からチリメン漁が開始され、現在も操業が続いている。6月の漁獲量は前年の約240%であった。 サワラ流し刺網の6月までの漁獲量は約39トンで、前年の約180%であった。</p>